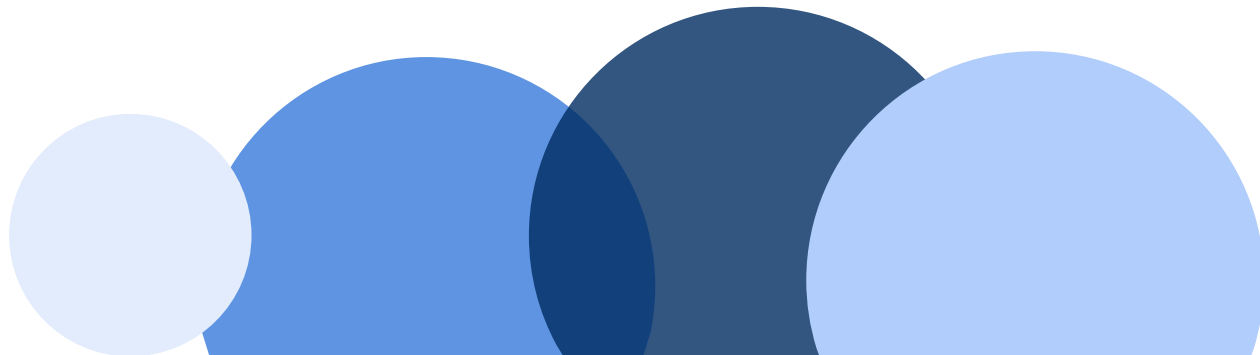


#### 4. 健康危機管理(災害・感染症)

# 健康危機管理におけるマネジメント

---





## 本講義の狙い

- 健康危機管理におけるマネジメントの基本概念を説明できる。
- 健康危機管理には情報収集、状況判断、意思決定、実施、評価のプロセスがあり、管理期保健師が各マネジメントプロセスで果たす役割を説明できる。

# 本講義の内容

---

- 健康危機管理発生時の対応 —————4
- 健康危機において求められるマネジメント —————6
- 【参考】災害対応全体の流れ —————7
- 健康危機管理におけるマネジメント —————8
- 本講義のまとめ —————10

# 健康危機管理発生時の対応(1/2)

- 健康危機発生時の対応における対応体制の確定について、「地域における健康危機管理について～地域健康危機管理ガイドライン～」(\*)では、以下のように述べている。
  - 地方公共団体は、健康危機が発生した場合には、対応体制の確定、正確な情報の把握、原因の究明、医療の確保等を迅速に行い、住民の健康被害の拡大防止に努めることが必要となる。
  - 非常時には、予め定めるところに基づき、最初に責任の所在及び指揮命令系統を確定し、対応することが重要である。通常、地域においては、健康危機発生地を所管する保健所の所長が責任者となる。
  - 保健所長は、非常時体制への移行、役割分担等の指揮命令をトップダウン方式で行う必要があり、そのためには必要な情報が保健所長に集められていなければならない。
  - 都道府県等の本庁における責任の所在、役割分担及び指揮命令系統
    - 健康危機管理における指揮命令は、組織の管理責任者がトップダウン方式で行うべきこと、管理責任者に必要な情報が集められる仕組みづくりをすべきこと、関係各課にまたがる問題又は重大な問題が生じた場合には各課横断的な非常時の体制等を確立して対応すべきであること等については、保健所における対応と同様である。
- 健康危機発生時は、責任の所在及び指揮命令系統を確定し、トップダウン方式で指揮命令を行うことが重要である。

\*)厚生労働省 地域における健康危機管理について～地域健康危機管理ガイドライン～(閲覧日:2024/10/31)

## 健康危機管理発生時の対応(2/2)

- 健康危機発生時の対応における情報収集体制の確保について、「地域における健康危機管理について～地域健康危機管理ガイドライン～」(\*)では、以下のように述べている。
  - 第一報
    - 健康危機の発生又はそのおそれがあることの第一報を受けた職員は、未確認の情報であっても、通常の業務時間内か否かにかかわらず、保健所長及び保健所の所属部課長に連絡し、非常時の体制への移行、本庁への報告の要否等のその後の対応について保健所長等の判断を求めることが必要である。
  - 報告
    - 健康危機管理に関する情報は、最初に情報に接触した者だけが保持することにならないようにする必要がある。非常時体制がとられた際には、あらゆる情報は情報収集担当で受け、保健所長及び所内対策担当に報告し、情報を一元的に集約整理して管理することが適当である。
  - 都道府県の本庁における情報の取扱い
    - 都道府県本庁の衛生主管部局は、保健所からの報告を迅速かつ正確に管理責任者に報告することが必要である。健康危機の内容が各課の所掌にまたがる場合には、情報を極力一元化して管理し、各課から保健所に対して重複した問い合わせが行われないよう配慮することが必要である。
- 健康危機発生時は、情報を一元化して、迅速な報告・連携が重要である。

\*)厚生労働省 地域における健康危機管理について～地域健康危機管理ガイドライン～(閲覧日:2024/10/31)

自然災害

# 管理期保健師に求められるマネジメント

- 厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業「地域健康安全・危機管理システムの機能評価及び質の改善に関する研究」(\*)では、管理期保健師の災害時の役割行動として、以下が記載されている。

|          |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                             |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マネジャーの役割 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 人材確保</li><li>・ 活動編成・人員配置調整</li><li>・ 連携促進</li><li>・ 施策・システムづくり</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 対応方式の選定・変更(例:避難所への保健師の個別配置から巡回型への意向決断)</li><li>・ 活動の編成、人員配置の決定・調整</li><li>・ 医療チーム、派遣保健師の調整・配置</li><li>・ 派遣チームとの情報共有</li><li>・ 地域の人材確保と組織化</li></ul> |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- 業務増加・業務負担を見極め、リソース確保・配分し、優先順位や業務構造を見直す

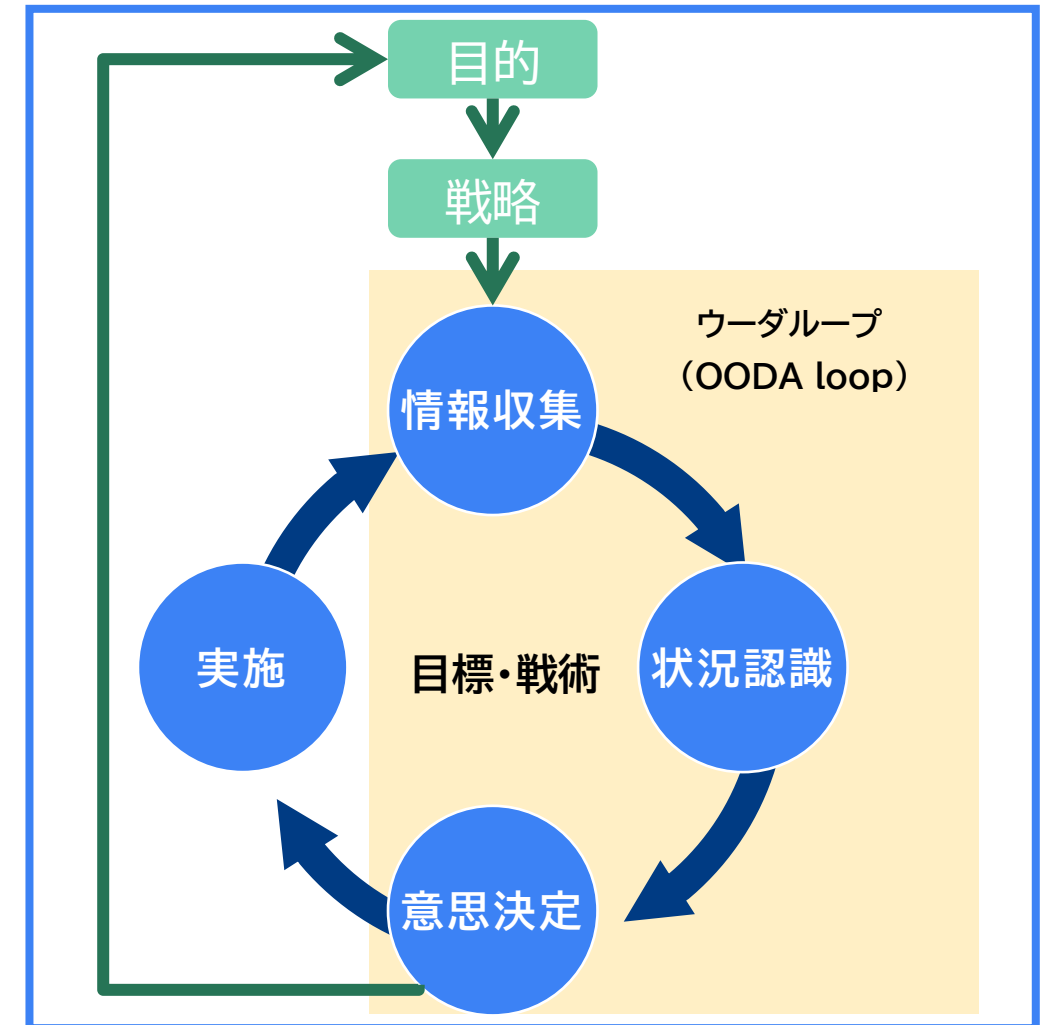
\*)平成23-24年度厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業「地域健康安全・危機管理システムの機能評価及び質の改善に関する研究(研究代表者:多田羅浩三)」分担研究「東日本大震災被災地の地域保健基盤の組織体制のあり方に関する研究(分担研究者:宮崎美砂子)」報告書(閲覧日:2024/12/17)

## 自然災害

## 【参考】災害対応全体の流れ

- 「保健医療福祉調整本部等におけるマネジメントの進め方 2022」(暫定版)(\*)では、災害対応全体の流れについて、以下のように述べている。

- 災害対応の目的、大枠の戦略を定め、目標を設定し、目標達成に向けた実行計画・戦術を策定し実施する。
- 情報収集(Observe)、状況認識(Orient)、意思決定(Decide)、実施(Act)の一連の流れを、ウーダグループ (OODA loop)ともいい、PDCAサイクルをCから始めることに近い。
- ICSの肝は、意思決定に至るこの流れである。



# 健康危機管理におけるマネジメント(1/2)

- 災害対応におけるマネジメント体系について、「災害時の保健活動推進マニュアル」(\*)では、以下のように記載されている。
- ICS(Incident Command System):
  - 米国で開発されたあらゆる災害対応において、組織の運用を標準化したマネジメント体系であり、指揮命令系統や管理手法が標準化されている点が特徴で、災害対応のコツのようなものである。
- span of control
  - 統制範囲。原則、一人の人間が効果的に監督できる数は3～7人(チーム)、できれば5人(チーム)以下が望ましい。

\*)日本公衆衛生協会/全国保健師長会 災害時の保健活動推進マニュアル(閲覧日:2024/11/13)

出所)2015年度厚労科研 広域大規模災害時における地域保健支援・受援体制構築に関する研究において英国ALSGのMIMMSの内容を一部改変(閲覧日:2024/11/13)



# 健康危機管理におけるマネジメント(2/2)

- 災害時の保健医療対応について、「災害時の保健活動推進マニュアル」(\*)では、以下のように記載されている。
- CSCA-HHHH:災害時保健医療対応のキーワード

| 各機能                                         | 内容                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Command & Control(指揮・調整)                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時には、現場指揮者を決め指揮系統を確立し、現場で迅速に対応を開始する。</li> <li>・ 職員が集まったらICSで組織を編成し、各部門の長に権限を委譲して対応する。現場は独自に判断し、上位に要請することが重要。</li> </ul>                                                                                        |
| Safety(安全の確保)                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Self(自分・職員の安否)、Scene(施設・建物の倒壊、ライフライン、火災等)、Survivor(患者・被災者の安否)の3つのSがある。</li> <li>・ 職員の安否確認は、事前に準備した職員連絡網や緊急連絡先、非常参集予定者名簿などを用いて行う。</li> <li>・ 施設の安全確認は事前にチェックポイントを確認し、ライフラインが使用できない場合の代替手段を平常時に確認しておく。</li> </ul> |
| Communication(情報交換・共有)                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関との連絡体制を確保するため、各種通信手段の使用可否と設置場所、使用方法を事前に確認する。</li> <li>・ 通信手段が途絶する場合に備え、都道府県は市区町村などに連絡員として職員を派遣することを考慮する。</li> </ul>                                                                                         |
| Assessment(評価)                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の情報収集、分析、共有、戦略策定、実施計画、実行、評価というPDCAサイクルを実施。</li> <li>・ 情報収集方法はメディア、市町村連絡や直接訪問で、事前に被害想定を確認。</li> </ul>                                                                                                         |
| Help(支援)                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健医療行政によるマネジメントの補佐的支援。</li> </ul>                                                                                                                                                                               |
| Hub for Cooperation & Coordination(協力調整の拠点) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な官民資源の“連携・協力”のハブ機能。</li> </ul>                                                                                                                                                                                |
| Health care system(医療制度)                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急性期～亜急性期～復旧期までの切れ目のない医療提供体制の構築。</li> </ul>                                                                                                                                                                      |
| Health & Hygiene(健康と衛生)                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所等における保健予防活動と生活環境衛生の確保による二次健康被害の防止。</li> </ul>                                                                                                                                                                |

- CSCA-HHHHを合言葉に、災害時の問題を適切に管理し、災害対応を推進する

\*)日本公衆衛生協会/全国保健師長会 災害時の保健活動推進マニュアル(閲覧日:2024/11/14)  
出所)保健医療福祉調整本部等におけるマネジメントの進め方 2022(暫定版)をもとに作成(閲覧日:2024/11/14)

# 本講義のまとめ

---

- 健康危機発生時は、情報を一元化して、迅速な報告・連携を行うことと、責任の所在及び指揮命令系統を確定し、トップダウン方式で指揮命令を行うことが重要である
- 健康危機時に管理期保健師に求められるマネジメント役割は、各対応のプロセスで業務増加・業務負担を見極め、リソース確保・配分し、優先順位や業務構造を見直すことである
- 健康危機時(災害対応)は災害対応の目的、大枠の戦略を定め、目標を設定し、目標達成に向けた実行計画戦術を策定し実施することに加え、情報収集、状況認識、意思決定、実施の一連の流れを繰り返すことが肝要である